

国立大学法人 長岡技術科学大学

平成24年度第4回(第51回) 経営協議会議事要旨

日 時	平成24年11月30日(金) 13時00分～14時20分
場 所	ホテルニューオータニ長岡「柏」
出席者	新原議長、東委員、江口委員、岡田委員、木谷委員、神野委員、相岡委員、宮下委員、山崎委員、武藤委員、高田委員、宮崎委員、中出委員、斎藤委員 (議事の表決の委任による出席者：池田委員、森委員)
陪席者	平山監事、滝上監事、小松附属図書館長 (原田客員教授)
事務局	総務部長、企画・広報室長、総務課長、人事・労務室長、総務課副課長、財務課長、財務課副課長、財務課予算係長、企画・評価係長、財務課専門職員、財務課予算係、総務課総務係主任 以上 31名

議事に先立ち、第50回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 入試手当規程の一部を改正する規程の制定について

宮崎委員より、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 平成24年度予算の変更(案)について

宮崎委員より、資料2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 給料減額措置返還見込みの分は、4月から人件費を減らした分か。
- 平成23年度の実績ベースから給料減額措置返還見込みの分を算出しており、4月からの1年間分の見込み額を計上したものである。本学では、役員は6月、教職員は7月から減額を実施しているが、差額は大学が補填するかたちとなっている。
- 9月から3カ月間、運営費交付金の交付が50%以上削減されているが、資金を金融機関から借入れることはなかったのか。
- シミュレーションでは、12月の給料までは対応可能であったが、特例公債法案が可決され削減分が交付されたため、借入をするまでには至らなかった。

3. 長岡技術科学大学外部評価の実施について

武藤委員より、資料3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 評価委員会の構成員を見ると、相当大所高所から評価を頂くことになると思うが、最終的に何を外部評価として求められるのか。
- それぞれの立場から、本学が進むべき方向性についてコメントを頂きたいと思っている。昨年8月に中長期成長戦略や実際のアクションプランを策定し動き出しているが、これまでの実績、認証評価では明確となりにくい本学の特徴、個性を評価、検証頂き本学の運営に反映させ

本学の発展に繋げたい。

- 外部評価委員の選考にあたってはどのような観点のもとに行ったのか。
- 本学をいろんな側面からよく理解しておられ、大所高所から適切な評価を下せる者で、メンバー構成についても産・官・学のバランスを考慮した上で、候補者十数人の中から選んだものである。
- 今回の外部評価は、どちらかというとい内部の今後の方向性とか戦略の見直し等々に利用していかうという議論だが、これを本学の社会でのパブリシティ対策として、外にうまくアピールするということは考えないのか。
- 本学のすばらしさや宝がよく理解されていない面が多々あり、もう一段進むためにこの評価を糧にして本学の良さをアピールしていきたいと考えている。

報告事項

1. 平成23事業年度に係る業務の実績に関する評価結果について

武藤委員より、資料4に基づき、報告があった。

2. 平成25年度概算要求(文科省要求内示)について

宮崎委員より、資料5に基づき、報告があった。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 今後文科省の補助金では、福利棟や学生宿舎については厳しいと思うので、学内で戦略的に裁量経費を確保してやっていくしかないのではないか。
- 特に留学生を含めた学生宿舎が不足しているので、現在教職員や学生に宿舎の意向調査を実施している。それを踏まえて現存の教職員・学生宿舎を効率的に改修して、少しでも改善できればと考えている。福利棟については、大きな改修はできないが、変更予算の中で少しずつ改修する予算を組んでいる。

3. 平成23事業年度財務諸表の承認について

宮崎委員より、資料6に基づき、報告があった。

4. 大学機関別認証評価における訪問調査の結果について

武藤委員より、資料7に基づき、報告があった。

5. 国立大学のミッションの再定義について

武藤委員より、資料8に基づき、報告があった。

以上